

「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」  
 「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」

最終評価結果

大学グループ名	京都産業大学グループ
取組名称	滋京奈地域における産学連携インターンシップ等による人材育成
地域インターンシップ推進組織名	滋京奈地域インターンシップ推進協議会
取組担当者	京都産業大学 副学長・経済学部教授 大西 辰彦
連携校名（★幹事校）	滋賀大学、奈良女子大学、滋賀県立大学、京都府立大学、聖泉大学、長浜バイオ大学、京都外国語大学、京都学園大学、★京都産業大学、天理大学、奈良佐保短期大学（計11校）
連携したインターンシップ等支援組織等名（団体名・企業名等）	経済産業省近畿経済産業局、関西広域連合、滋賀県中小企業家同友会、京都商工会議所、奈良商工会議所

事業概要

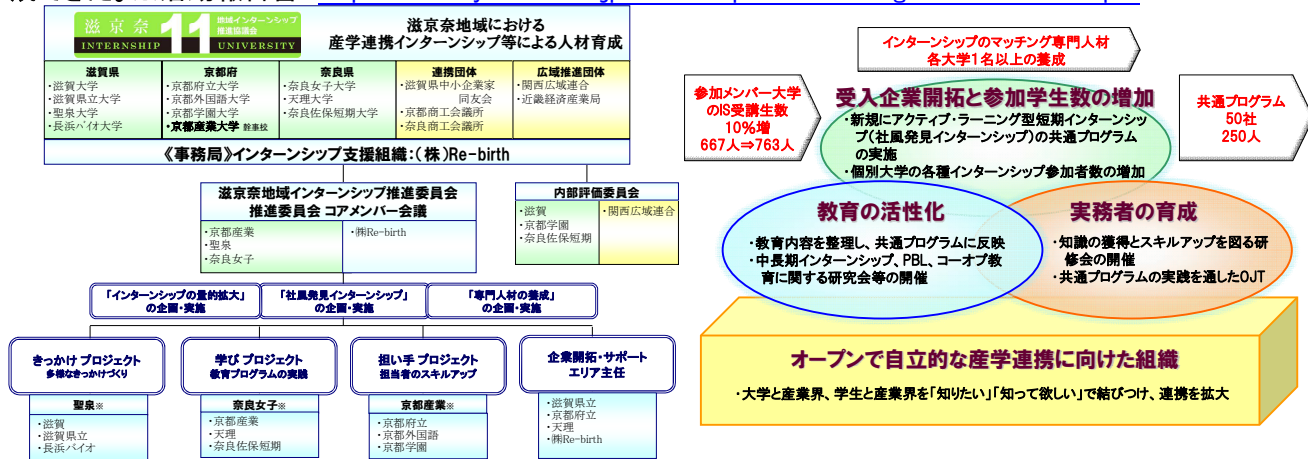
本事業は、滋京奈地域の11大学・短期大学グループと産業界が連携して、「広げる」「深める」「担う」という3つの側面からインターンシップの拡充および専門人材の養成を目指した取組みである。

**きっかけプロジェクト**「広げる」という側面から、企業・学生・大学の「知りたい」「知ってほしい」のマッチングを基礎として、多様なきっかけづくりのために短期インターンシップを企画・実施した。

**学びプロジェクト**「深める」という側面から、産業界ニーズ事業（テーマA）の成果を踏まえ、産学連携によるキャリア教育を深め、教育効果の高いインターンシップに結びつく教育プログラムを設計した。

**担い手プロジェクト**「担う」という側面から、インターンシップのコーディネート業務など、単独の大学では困難な教職員研修をFD・SD活動として実施し、産学連携の実務的担い手となる人材を育成した。

共通プログラムである「社風発見インターンシップ」では、117社に261名の学生が参加。参加メンバー大学の個別インターンシップ受講生数は、平成25年度比で18%増となり、インターンシップを拡充できた。また、本事業に専門人材として関わる教職員25名が、インターンシップの企業開拓やマッチング、学生支援などの実務に加えて、従来の枠を越えて他地域の企業と連携するなど、府県の壁を越えた広域的産学連携のモデルが形成できた。※活動報告書 <http://www.kyoto-su.ac.jp/career/lpom47000000g5lu-att/houkoku.pdf>



最終評価結果＜総合評価＞ S

《コメント》

地域特性を活用し、府県を超えた広域的産学連携のネットワーク構築に成功している。幹事校、副幹事校のリーダーシップがバランス良く機能しており、連携校内の役割分担も、それぞれのプロジェクトのもとで体系的に整理されている。共通の中長期のプログラムである「社風発見インターンシップ」の開発や、学生と企業とのミスマッチ解消への積極的な取組を通じて、参加学生数や受入れ企業数は、目標を大幅に上回る成果を上げた。また、推進委員会における評価や企業アンケートの活用により、事業評価も適性になされており、PDCAが機能し、状況に応じて柔軟な対応がなされている。インターンシップを教育の一環として明確に位置付け、一体化するための努力が随所に見られる点等、他の地域の参考となりうるインターンシップの在り方が示され、大学間連携の好事例として高く評価する。

今後についても、より実効性のある取組へと進化しながら継続を目指しており、計画が具体的である。事前のKPIの設定や、各大学毎の定量的なデータ及び具体的な効果のより詳細な分析等を行い、地域連携の雛形となる取組への更なる進化や、人材育成の手本となる取組の提示を期待する。